

Yonago East Weekly

「自分にチャレンジ！自分に奉仕！そして、ロータリーを楽しもう！」

- 創立/1968年4月24日 ●事務所/米子市西福原1-1-55 ホテルサンルート米子 Tel (0859) 32 - 5531
- 例会日/水曜日12:30~13:30 ●例会場/ホテルサンルート米子市西福原1-1-55 Tel (0859) 33-0911
- 会長/小谷維夫 ●幹事/永島清孝 ●会報/足立博俊

会員数87名

今週のお祝い

出席100%祝: 1年 笠尾幸広君 2年面谷博紀君
17年 岩崎浩君 38年 上森明郎君

会長挨拶

皆さん、こんにちは。長い連休が、終わりました。皆さん、どんなふうにご過ごされましたでしょうか？私は前半は予定どおり納戸の片づけに草刈り、後半は普段読めない本を読んであっという間に連休も終わりました。

さて、昨日は理事会があり、今夜は5RCの新旧会長幹事懇談会がございます。会長挨拶では、これまで地区ガバナーの方針に沿って、できるだけロータリーのことをお話してきましたが、残り約二カ月の例会では少し会長の想いもお話しようと思っております。名付けて「会長小話」です。

先月27日の午後、テレビをつけましたら教育テレビでオーケストラの演奏をやっていました。なにかいつもと違う雰囲気、聞き入ってしまいました。楽団員の眼差しも真剣そのもので、魂を引っ張られるというか、音も荘厳な感じでした。聴衆の様子も固まったように動きが無く、やはり魂を引っ張られているような雰囲気でした。こんなコンサートの様子は、初めてでございました。

その演奏会と言うのは“魂の旋律・交響曲第1番 HIROSIMA”というものでした。一気に聞き入ってしましまして、1時間20分の非常に長い曲でしたが、コーヒーも冷めておりました。私の感覚では、曲の感じはこれでもかこれでもか、と苦悩に苛まれる。それでも這いつくばって、這い上がって、明日に向かって這いながら、立ち上がりながら前進していく。どんなことがあっても、人間は生きていかなければならない、また生き延びていかなければならない、なんといいですか人間の宿命、生きることの宿命、そのようなものを感じる音楽でございました。ちょっと大げさにいえば“神の啓示”かなと思うくらい、心

に来るのがありました。


この曲を作られたのは、佐村河内守さんという広島出身の被爆二世の方で、子供の頃からお母さんに英才教育を受けられ、17歳からこの曲の作曲に取りかかれたのですが、その頃から聴覚に異常をきたし、現在は全く聞こえないのだそうです。

皆さんも、この曲を是非一度お聞きになられたら、と思います。単なるきれいな音楽と違って、低音が湧きがってくる和太鼓のような、恐らく日本人でないと書けない音楽だと思います。3. 11の鎮魂歌とも言われております。とにかく凄い曲です。

幹事報告

1. 本日、片岡敏一君入会 87名
2. 6月よりクールビス
3. 本日、第2グループ新旧会長幹事会(サンルート)
4. 4/14IMのお礼状拝受(第1G 小林G補佐より)
5. 5/22 18:30~新旧引継ぎクラブ協議会
6. 例会変更のお知らせ
米子中央RC 5/16(木)移動例会 ビジター受付あり
米子南RC 5/20(月) " "

としかず
新入会員 紹介 片岡敏一 君
(精肉販売)



S.47.11.10生まれ

株式会社 カタセイ
代表取締役

境港市竹内団地269
45-5111



Peace Through service

奉仕を通じて平和を

< プログラム >

「ロータリーの友」紹介 雑誌委員会リーダー 北沢 薫 会員

横書き

- 1ページ ・RI会長メッセージ「平和はロータリーの実現可能な目標」
- 10ページ ・「ポリオ(小児麻痺)の第二幕」
- 18ページ ・「苦楽吉祥の人・向笠廣次元RI会長について語る」

縦書き

- 2ページ 「国境を越えた強固な信頼関係の構築—文化財を事例として」
- 7ページ 「ふるさと志木の河童を彫る」
- ★うちの子供達は志木で大きくなりまして、とても懐かしくて一番にこの記事に飛びつきました。
- 16・17ページ 「白寿を言祝ぐ」 「69歳の幸せ」
- 25ページ 「ロータリー・カフェ 西川口にオープン」



「鳥取県の若者の就職支援について」

マンパワーグループ株式会社 鳥取支店 菊田 健司 様
高岡 栄樹 様



本日は、このような機会をいただきありがとうございます。

弊社は、横浜に本社があり、世界で展開するグローバル企業でございます。国内では全国に営業所がございます。派遣、再就職支援、就労支援等を行っております。鳥取県の就職支援事業ですが、平成23年には44名、昨年は41名の実績でした。

リーマンショック以降、全国の自治体で行われている事業です。紹介予定派遣というのを使ってやっています。鳥取県では私共が受けてやっていますが、限られた予算ですので、まず応募者を面接して人数を絞ります。学力や能力もさることながら、就職に対する意欲を見極めてご支援しております。能力が十分高い人は、独力での就職活動をお奨めしますし、本人の意思でなく親などに言われてやってきた意欲のない人は、お断りしております。

絞った方々には、まず2カ月の基礎研修を実施します。いわゆる新人研修のようなこと、また特にコミュニケーション能力の研修もしております。そして企業様のニーズをお聞きし、研修生に紹介マッチングします。決まりますと、まず当社の派遣社員としてOJTを実施し適性を見ます。そして役立つ人材と見極めていただいて直接雇用へ切り替えていただきます。そしてこれは鳥取県の事業で税金を使っておりますので、試用期間中の企業様のご負担、また直接雇用へ切り替える時の紹介料などのご負担は一切ございません。ですので、いま若い人材をお探しの企業様がございましたら、是非ご検討いただければと思います。

自治体さんのこのような事業は、今後も続くものと思います。ハローワークさんだけでなく、よろしく願います。

本日は、ありがとうございました。

今後の予定

- 5/22 新旧引継ぎクラブ協議会 18:30~
- 6/ 5 新年度クラブ協議会 18:30~
- 6/12 新入会員歓迎会 19:00~
(芭蕉庵 駅前店)
- 6/26 夜間例会 (ホテルサンルート米子)
- 7/10 ガバナー補佐訪問クラブ協議会 18:30~
(ホテルサンルート米子)
- 7/31 ガバナー公式訪問例会

次回プログラム

- 5/15 職場訪問 山陰労災病院
「ミニ人間ドック」(希望者)
- 5/22 (仮)「アメリカ留学を終えて」
青少年交換派遣学生 大塚美月さん
- 5/29 未定